

平成30年度



赤木小だより

平成30年12月 4日 No.26 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』

あ 明るいあいさつをする子ども

か 考えをもって学び合う子ども

ぎ 気持ちよく運動する子ども

学び合い、認め合って、共感し合う6年生

11月30日（金）、算数の授業研究会が6年2組で行われました。単元名は「起こり得る場合を順序よく整理して調べる」学習でした。体育の授業で行っているフラフープバスケット対戦数を落ちや重なりがないよう調べるのが課題でした。子どもたちは、4グループの対戦すべてを書き出す方法、対戦表を作成する方法、樹形図に表す方法、図形を描き辺と対角線に着目する方法など、多様な解決方法で試合数を見いだしていました。

また、それぞれの解決方法のよさや課題などを話し合い、自分にとっての納得解を求めたり共感・共有したりして深い学びを追求していました。

落ちや重なりがないよう、図や表にするとわかりやすいね！



ぼくは、四角形の辺と対角線で考えたんだ！



樹形図にした方がわかりやすいかな！



伝統の鼓笛隊の引きつぎ、練習が始まりました

11月20日から伝統ある赤木小学校鼓笛隊の引き継ぎ練習が始まりました。2時間目の休み時間（たったの15分間しかありませんが）を利用し、6年生から熱心に教えていただいております。細かいところまで親身になって教える6年生、伝統を引き継ごうと懸命に学びとる4・5年生の姿は、とても好感がもてます。



茶の湯で「思いやりの心」に触れたような気がします

5・6年生の茶の湯体験教室が開かれました。毎年、鈴木佐和子先生、吉田祥子先生、鈴木義夫先生にご指導をいただき、相手を「もてなす心」「もてなされる心」を学んでいます。

